

## 住宅瑕疵担保責任保険 ALC塗装規定の3条確認について

### ～下地処理（調整）の重要性～

瑕疵担保履行法の施行により、平成21年10月受渡しより、すべての住宅は保険加入（又は供託制度加入）が義務化され、保険の適用を受けるには、国交省指定の責任保険法人が定める（各社共通の）設計施工基準に従う必要があります。その中で、ALCに適用される塗装規定に関して、以下に解説いたしますので、ご理解のうえ施工品質向上にお役立てください。

#### ■ 設計施工基準より（平成21年度版より）

パワーボード、ヘーベルライト等のALCパネルは、第9条 外壁の防水の項により、第3項の塗装規定が適用され、JIS A 6909（建築用仕上塗材）の

(1)薄付仕上塗材に適合する防水形外装薄塗材 E (2)厚付仕上塗材に適合する外装厚塗材 E

(3)複層仕上塗材に適合する複層塗材 CE、可とう形複層塗材 CE、防水形複層塗材 CE、複層塗材 Si、複層塗材 E 又は防水形複層塗材 E

等の仕上材を施すこととされています。（詳細は設計施工基準をご確認ください。）

この中では、ALCパネルの仕上材として比較的汎用されている（薄付仕上塗材に適合する）

外装薄塗材 E（通称リシン）、可とう形外装薄塗材 E（通称弾性リシン）等が含まれていません。

#### ■ リシン等の3条確認 \*住宅保証機構、住宅あんしん保証、JIO、ハウスジューメンの4社で3条確認がおりました。

一方、設計施工基準の第3条1項では、同基準で規定する防水仕様と同等以上の防水性を有するもので、各保険法人が認めるものは適用除外（その仕様を変更することなく保険の引き受けを行う）とする仕組みを設けており、この手続きを「3条確認」といいます。

今回、ALC協会より住宅保証機構など保険法人数社に対してリシン等の3条確認を申請し、ALCパネル表面に下地処理（調整）を施す、又は建築学会仕様書 JASS23（吹付け工事）の施工仕様を前提に、外装薄塗材 E（リシン）、可とう形外装薄塗材 E（弾性リシン）、外装薄塗材 S（溶液リシン）を用いることが認められました。（JASS23吹付け工事には、ALCへの下地処理の必要性や仕様の詳細が明記されています。）

リシン等は比較的防水性が低いとの懸念より、下地処理（調整）を含めた JASS23 の遵守がより必要ですが、ALCパネルの塗装では、複層塗材 E（アクリルタイル）をはじめ第9条で認められている仕上材でも、下地処理（調整）が元来必要です。施工者様には再度ご認識いただくようお願いいたします。

\*上記は、保険法人発行の設計施工基準上の規定であり、規定されない事項など、基本的には弊社（パネル製造会社）の標準施工要領によっていただく必要があります。塗装仕様についても弊社カタログ、技術資料等をご確認ください。

\*設計施工基準は各保険法人共通ですが、3条確認は各社ごとの判断によるものですので、他の保険法人については個別にご確認ください。

#### ■ ALC下地の塗装仕様、工程の実例

下地処理（調整）が省略されやすい理由のひとつとして、塗料メーカーのカタログや仕様書（塗装工程表）がALC向けには表記されていないことが挙げられます。外装薄塗材 E（アクリルリシン）を例にとりますと、塗料メーカーの仕様書（塗装工程表）は一般に下表のように示されています。

工程	製品（塗料）名	所要量 kg/m <sup>2</sup>	塗回数	希釈量%	塗装器具（圧力 Mpa）	工程間隔（時間）
下塗	〇〇シーラー	0.15～0.2	1	無希釈	エアレスガン（10～15）	2以上
主材塗	〇〇リシン主剤	1.0～1.2	2	清水0～5	リシンガン口径 3～4mm （0.4～0.6）	工程内：2以上 工程間：24以上

しかしこのような場合の下塗は、一般にコンクリートやモルタル下地等を想定し、接着増強を目的とし塗布量も少ないシーラーのみのため、ALC下地に必要な下地処理が考慮されていません。よってALCの場合、前工程として下地調整塗材を塗布するか、シーラーと下地調整機能を併せ持った（一般的に1kg/m<sup>2</sup>前後の塗布量が必要な）下塗材に仕様変更する必要があります。正しい例としては、下表のような塗装仕様、工程になりますが、詳細は各塗料メーカーとも、ALCに適した下地調整塗材を販売していますので、個別に確認をお願いします。

工程	製品（塗料）名	所要量 kg/m <sup>2</sup>	塗回数	希釈量%	塗装器具（圧力 Mpa）	工程間隔（時間）
下塗	〇〇コート下塗	1.1～1.2	1	8～12	リシンガン口径6mm（0.6～0.8）	3～4
主材塗	〇〇リシン主剤	1.0～1.2	2	清水0～5	リシンガン口径 3～4mm （0.4～0.6）	工程内：2以上 工程間：24以上

なお下地調整塗材の施工では、ローラー引き、刷毛引きなどにより、しごき塗りする必要があります。防水性能のみでなく、美観確保のためにもご注意ください。

旭化成建材株式会社

平成22年10月1日改定

札幌 011(261)5443

東京 03(3296)3522

仙台 022(223)8171

名古屋 052(212)2251

大阪 06(7636)3888

中四国 082(511)5125

福岡 092(526)2105

建材 gallery0120-787-157